

# 英語リーディングB Reading B

薬：K2-13121MY、生命：K2-13121MS

素養科目 1、2年／後期 1単位 選択科目

科目責任者 稲田 俊一郎(英語・理論言語学研究室)

授業担当者 **A組1班**：長岡 真理子(非常勤講師)、**A組2班**：瀬戸川 順子(非常勤講師)、**A組3班**：稲田 俊一郎  
**B組1班**：松井 直樹(非常勤講師)、**B組2班**：岡部 了也(非常勤講師)、**B組3班**：長岡 真理子(非常勤講師)  
**C組1班**：岡部 了也(非常勤講師)、**C組2班**：松井 直樹(非常勤講師)、**C組3班**：中野 里美(非常勤講師)  
**S組1班**：竹村 哲明(非常勤講師)

## ■教育目的（各クラス共通）

エッセイ、フィクション、時事問題、科学読み物、医療記事などの英文を読み、精読、速読、パラグラフリーディングなどを含む総合的な読解力をつけることを目的とする。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

## ■学習到達目標（各クラス共通）

1. 様々な読み方の訓練を行い、状況に応じて使い分けられるようにする。(知識、技能)
2. 科学読み物、フィクションや時事問題に関するもの等を題材とし、様々な領域の英文を読みこなせるようになることを目指す。(知識、技能)

## ■授業内容

### A組1班・B組3班 長岡 真理子(非常勤講師)

この授業では、福祉・医療など現代の社会問題に関するトピックの英文を通じて読解力の向上を図るとともに、幅広い分野へ関心を広げることも目的としています。また、語彙・文法の確認に加え、どの分野の文章を読む際にも必要となる、英語の文章の構造理解を深めることも目指します。効果的な学習効果を得るために必ず事前の準備をしてください。なおこの授業では、教科書後半のUnit 9-15を扱う予定です。

[No.1] Course guidance /リーディング教材

[No.2-3] Unit 9 Healthy Bones 骨の健康のために

[No.4-5] Unit 10 Child Maltreatment 児童虐待

[No.6-7] Unit 11 SDGs 持続可能な開発目標

[No.8-9] Unit 12 Adapted Sports アダプテッドスポーツ

[No.10-11] Unit 14 CMSi: An Example of Social Enterprise in Japan

[No.12-13] Unit 15 Outdoor Education 野外教育

[No.14] これまでの復習

[No.15] 期末課題に取り組む

**準備学習（予習・復習）**：予習:教科書の当該箇所の予習。トピックによってはその背景知識を得る。(60分以上)／復習:授業中に学習した内容及び語彙の確認(30分以上)

**授業形態**：グループワーク、講義

**課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法**：期末試験(80%)、小テスト(20%)で総合評価する。

**教科書**：『Thinking about Human Life and Society - 人間生活と社会福祉を読み解く新たな視点』茨木正志郎 他 著 (南雲堂)

### A組2班 瀬戸川 順子(非常勤講師)

今後、より専門的な文献の読解を要求されることを想定して、基本的理解力の充実を図る。下記テキストにより、幅広い分野のニュースに触れて、実際に使用される英語の表現の多様性や文化的背景に親しむ。文法事項を確認しながら精読するが、慣れたら次第に速度を上げたい。自分で調べる手間を惜しまないで、英和辞書を用意しておくこと。また、随時プリントを使用して速読を試みる。

[No.1] イントロダクション 概容説明 その他

[No.2-3] Chapter1 令和の着物

[No.4-5] Chapter2 農業×ロボット

[No.6-7] Chapter3 電話恐怖症？

[No.8-9] Chapter4 水素自動車

[No.10-11] Chapter5 デジタル墓参

[No.12-13] Chapter12 座り過ぎのリスク

[No.14] Chapter15 介助のコツ

[No.15] まとめ

**準備学習（予習・復習）**：予習：各章のテーマに関して調べておく。／復習：論理の展開、新出単語やそれに関連した表現等を再確認する。

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：練習問題・単語テスト等で理解度を確認し、フィードバックを実施、期末試験(90%)、小テスト(10%)で総合評価する。

教科書：Insights 2025 村尾純子 他 金星堂 978-4-7647-4220-8

参考書：英和辞典（すでに所持しているものでよい）

---

### A組3班 稲田 俊一郎

科学の必要性等の科学の進歩にまつわる素朴な疑問から、科学の法則の発見、科学者の裏話等の楽しい話題まで、アシモフが科学について語ったエッセイ集所収のいくつかの章を読解します。

[No.1] ガイダンス

[No.2-3] Learning Science (Ch.2)

[No.4-5] Science and Technology (Ch3)

[No.6-7] Self-correcting (Ch4)

[No.8-9] Moon Hoax (Ch8)

[No.10-11] The Race for Honor (ch10)

[No.12-13] Gold from the Sun (ch12)

[No.14-15] これまでの復習

※テキストの取り上げる章は場合に応じて変更することがある。

準備学習（予習・復習）：[予習] 毎回指定された範囲の英文を授業までに読解する。読解の際には、語彙や表現を辞書を用いて前もって調べ、疑問点があれば質問するための準備をしておく(60分)

[復習] 授業の内容を踏まえて英文を読み直す(30分)。

授業形態：課題解決型学習、グループワーク、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：・小テストや MY-CAST 課題で語彙・表現力を確認し随時フィードバックを行う。また、授業での解説を応答を通じて、全体的な読解力に関するフィードバックも行う。

・MY-CAST 課題提出(30%)、期末試験(70%)で総合的に評価する。

教科書：『Gold from the Sun』Isaac Asimov (金星堂)

---

### B組1班・C組2班 松井 直樹(非常勤講師)

この授業の目的は“英語リーディング”という授業形態を通して、英文読解力・理解力の向上のみならず、筋道を立てて考えを構築する力、批判的に物事を考察する力を養うことにあります。科学技術関連のトピックを扱う BBC / Future ウェブサイトの記事をもとにして書かれた Innovation and Technology をテキストとして使用し、その英文を丁寧に読み進めながら、これらの能力を育成することになります。

授業は講義形式で進めることとなります。教員がパワーポイントで作成した資料を提示してテキストの英文や内容を解説します。学生は素早く、的確にノートをとる作業を行うこととなります。円滑な授業運営を行うために、毎回テキストの指定箇所に対して予習が課されます。

加えて、テキストの内容を超えた英語読解力や幅広い視野を養うために、事後学習では英字新聞・雑誌などを活用して学習することが求められます。

[NO.1] オリエンテーション / Essay Writing

[NO.2] Unit 8 Computing at the Speed of Light: Supercomputers [1]

[NO.3] Unit 8 Computing at the Speed of Light: Supercomputers [2]

[NO.4] Unit 9 Space Travel on Earth: The 4,000 km/h Train [1]

[NO.5] Unit 9 Space Travel on Earth: The 4,000 km/h Train [2]

[NO.6] Unit 10 Bringing Buildings to Life: Smart Houses [1]

[NO.7] Unit 10 Bringing Buildings to Life: Smart Houses [2]

[NO.8] Unit 12 Your Mother Was Wrong: The Benefits of Video Games [1]

[NO.9] Unit 12 Your Mother Was Wrong: The Benefits of Video Games [2]

[NO.10] Unit 13 Innovative Classrooms: Sounds and Smells for Learning [1]

[NO.11] Unit 13 Innovative Classrooms: Sounds and Smells for Learning [2]

[NO.12] Unit 14 A Connected World: The Rise of Bluetooth [1]

[NO.13] Unit 14 A Connected World: The Rise of Bluetooth [2]

[NO.14] これまでの復習 / Essay Writing

[No.15] 期末課題に取り組む

準備学習（予習・復習）：事前学習：テキストの指定箇所を予習(1時間以上) / 事後学習：授業内容の確認；英字新聞・雑誌を読んでみる(1時間以上)

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験(60%)、授業ノート提出(30%)、課題(10%)の合計で成績を評価します。

教科書：『Innovation and Technology - 未来を見つめる科学英語』David Rear・印南洋・川口恵子・村上嘉代子著(南雲堂)

---

### B組2班・C組1班 岡部 了也(非常勤講師)

本授業では、様々な内容に関する英文新聞記事を読むことにより、英語で書かれた文章を正確に読み取る訓練を行う。テ

キストは、政治、環境、テクノロジー、スポーツといった幅広いテーマに関するニュース記事とそれに関連した練習問題から構成される。授業中は、文章の読解および練習問題を通して、様々な分野に関する語彙、イディオム等の表現および文法知識の拡充を図る。この授業では、テキストの後半の Chapter 8 から Chapter 14 までを取り上げる予定である。

[No. 1-2] News 8: Chinese 'overseas police station' in Tokyo raided over benefit fraud

[No. 3-4] News 9: The Supreme Court overturned Roe v. Wade 2 years ago. Here's what's happened since

[No. 5-6] News 10: Paris is aiming for the most sustainable Olympics yet

[No. 7-8] News 11: IEA expects global clean energy investment to hit \$2 trillion in 2024

[No. 9-10] News 12: Japan's birth rate falls to a record low as the number of marriages also drops

[No. 11-12] News 13: AI will shrink workforces within five years, say company execs

[No. 13-14] News 14: History made as Colorado Rockies win with first walk-off pitch clock violation

[No. 15] これまでの復習

**準備学習（予習・復習）**：予習：文章中の知らない単語や成句等の表現を調べ、ある程度文章の内容を理解しておく。また、練習問題に関しては、答えを考えておく。(1 時間)/復習：授業中に確認した単語・表現や文法事項、練習問題の解答等を再度確認し、文章の内容に関し理解を深めておく。(1 時間)

**授業形態**：講義

**課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法**：期末試験の成績(100%)で評価する

**教科書**：『English for Mass Communication – 2025 Edition –』 堀江洋文 他著(朝日出版社)

---

### C 組 3 班 中野 里美(非常勤講師)

国内外のニュース記事を読み、語彙、文法、構文、表現に注意して精読し、高度な内容の英文に慣れることを目的とします。なおかつ、大学生として知っておくべき世の中の情勢にも目を向け、情報を得て、興味の範囲を広げていくことを目標とします。進度として、後半から使用しますので、初回に進度などを説明します。

[No.1] introduction

[No.2] A guide to halal food in Japan

[No.3] Olympics: Japan breaks new ground while playing to strengths in Paris

[No.4] "Godzilla Minus One" fought the odds and won big at the Oscars

[No.5] Chile Granny finds solace, celebrity in online gaming

[No.6] Scams hit a 15-year high, police announce in latest report

[No.7] After pandemic, young Chinese again want to study abroad, just not so much in US

[No.8] Stuck in space, tasty food options a lifeline for astronauts

[No.9] Fujitsu apologizes to hundreds affected by UK Post Office scandal

[No.10] Rhinos are returned to a plateau in central Kenya, decades after poachers wiped them out

[No.11] Protesters drove Nepal's king off the throne 16 years ago

[No.12] Gymnastics/New AI scoring system not replacing human judges for now

[No.13] Loved by the music world, Seiji Ozawa paved way for young talent

[No.14] Alarmed by AI Chatbots

[No.15] まとめ

**準備学習（予習・復習）**：予習：事前に注を参考に読み進めておき、分からない箇所がないか調べておきましょう。分からない箇所は授業で疑問解消していきましょう。(1 章ごとに約 30 分前後)

復習：資格試験などを今後、受験する際には問題として使用される語彙や内容も出てきます。それを意識して自分が活用することを想定して内容を見直したり、さらに調べたり、覚えたりしていきましょう。(1 章ごとに約 30 分前後)

**授業形態**：課題解決型学習、講義

**課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法**：課題(レポート、試験等)のフィードバックについて：講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。

成績評価方法：平常点(30%：ウォーミングアップとして授業冒頭に配布する TOEIC reading、テキスト内の Multiple Choice、True or False の問いや、こちらからの質問に答える)、期末試験の成績(70%)で評価します。

**教科書**：English through the News Media 2025 Edition by Asahi Press 1980 円

(ISBN:978-4-255-15728-3)

**参考書**：あれば授業内で紹介するか、プリントを配布します。

**その他**：不明な点がありましたら質問して下さい。

---

### S 組 1 班 竹村 哲明(非常勤講師)

TOEIC の獲得スコア向上を念頭に置き、平易なリーディング教材の読解と演習により語彙力の強化をはかります。希望者には適切なリスニング対策も指導します。

1. Introduction

2. Unit 1 Noodles

3. Unit 3 Baskin Robbins

4. Unit 4 Dealing with "Claimers"

5. Unit 5 Haunted Campus?

6. Unit 6 Solo Artists Are More Popular

7. Unit 7 Headphones

8. テスト実施
9. Unit 9 Road Rage
10. Unit 10 Irritating Things on the Train
11. Unit 11 Live Action Versions of Animated Movies
12. Unit 12 Tapioca and Bubble Tea
13. Unit 14 Energy Drinks
14. Unit 15 Places Near to Japan That Are Good for Studying English
15. Conclusion

**準備学習（予習・復習）：**予習：翌週の学習事項を確認し、内容について把握する。(30分以上)

復習：既習事項をまとめて試験に備える。(30分以上)

**授業形態：**課題解決型学習、講義

**課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：**1、授業内の取り組み (30%)/2、小テスト (20%)/3、期末試験の点数 (筆記試験:50%)

**教科書：**『考える基礎英語読本 (Read on, Think on - Basic Level)』 Jonathan Lynch 他著 三修社 2021 年

**その他：**質問・相談は授業時間前後に対応します。

詳細は初回授業でお話します。